

# 実質化された人・農地プラン

市町村名	対象地区名(地区内集落名)	作成年月日	直近の更新年月日
久米南町	南庄北地区	令和4年3月8日	年 月 日

## 1 対象地区の現状

①地区内の耕地面積	45.6 ha
②アンケート調査等に回答した地区内の農地所有者又は耕作者の耕作面積の合計	23.4 ha
③地区内における75才以上の農業者の耕作面積の合計	5.9 ha
i うち後継者未定の農業者の耕作面積の合計	5.9 ha
ii うち後継者について不明の農業者の耕作面積の合計	0.0 ha
④地区内において今後中心経営体が引き受ける意向のある耕作面積の合計	0.7 ha
(備考)	

## 2 対象地区の課題

南庄北地区の課題は、高齢化(耕作者の58%が70歳以上)であり、加えて農地の状況は傾斜地が(現在耕作されている47%が急傾斜)多く機械化が困難な状況です。地区内の高齢化が進む中で農繁期には親族等の応援を得てかろうじて乗り越える農家が多く見受けられる状況です。特に炎天下の草刈りは激務であり山間地では機械化も望めず管理休耕止むを得ずとの多くの意見が聞かれます。加えて令和3年産の米価下落は耕作意欲の減退を強めたと思われます。

## 3 対象地区内における中心経営体への農地の集約化に関する方針

南庄北地区においては相当の面積が集約化されて(耕作不能者が出た場合に地域内の農業者が代わって耕作を行い耕作放棄地のカバー)いるものと考えています。  
これ以上は高齢化・人手不足で困難な状況です。ただし、入作による耕作農地拡大はわずかながら希望が持てる。また、認定農業者が他の地区の耕作を縮小し、当地区の耕作を増加することが可能であれば耕作放棄地の減少にもなる。

## 4 3の方針を実現するために必要な取組に関する方針(任意記載事項)

**鳥獣害に関する事項**  
当地域は平成25年にメッシュで地域内を囲む工事を完了しています。  
しかし、数年前から柵内でイノシシが目撃され、今では子連れが出没している現状です。  
今後以前にも増して柵の点検の強化を行う方針。

**作業省力化に関する事項**  
地域内の各団地をドローンによる農薬散布を行い作業の効率化に取り組む。